



菊陽町の未来を担う人材～町の未来発表会から～

17日に、「町の未来発表会」がありました。これは、町内の小学6年生が、町長や教育長をはじめ、教育委員会や役場の方々へ、未来の町づくりを提言する企画です。

当日は、オンラインで、本校の6年生代表チームが、「地域格差のない町づくり」を提言していきました。

急速に発展している菊陽町の課題を見出し、その解決への手立てを具体的に考えた提案でした。

自分が子どもの頃は、ただただ秘密基地を作ったり、魚釣りをしたりして、何も考えず遊んでばかりでしたので、それと比べると、今の子どもたちは、本当にかしこく、未来を担う人材となっています。



子どもたちの健やかな成長を願って～門松づくり～

12月13日（土）に、学校運営協議会（南ba小会）の皆様が、子どもたちの健やかな成長を願って、立派な門松を作成してくださいました。材料の準備から作成まで全てしていただきました。そこに、思いがあるからこそ、さらに立派に、すばらしく感じられる気持ちが溢れます。

月曜日、登校してきた子どもたちは、その立派な門松に驚き、細部までしっかり観察していました。水曜日のあいさつ運動の際には、「私たちのために門松を作ってください、ありがとうございます。」としっかり感謝の思いを言葉にして表す子どももいました。見守られ、支えられていることを実感できるからこそ、感謝の思いを持てるのです。そのような環境を生み出していくために、校長として感謝の思いが尽きません。



子どもの「世界」を広げる～ゲストティーチャーの力をお借りして～

学校では、本校職員だけでなく、ゲストティーチャーによる授業も積極的に取り組んでいます。それは、「本物」に出会うため。ゲストティーチャーお一人お一人に、人生があられ、生き様があられ、その中で見い出して来られた「真実」と「宝物」があり、人が生きていく上で「大切なこと」としてご自身の中で構築されています。それを子どもたちに伝えていただくことが、子どもの「世界」を広げていくことにつながるからです。

今月もたくさんの「本物」と出会うことができました。元プロ・アメリカンフットボール選手の吉村さんによるフラッグフットボール指導、イラストレーターのTOMMYさんによるイラスト指導、二殿教育長による夢と国際理解を育む授業など、多くの方々のお力を借りています。

